

(別添)

令和3年度「ちばっ子の学び変革推進事業」(検証協力校)研究状況報告書

1 学校紹介

「力を出し合って学び合える児童の育成 ～笑顔あふれる岩木小～」を学校教育目標に掲げ、知・徳・体を調和的に育むことを重点に置いている。「協学(共に学ぶ)」「協働(共に働く)」「協錬(共に鍛える)」を基本的な考えとして、日々の学習や様々な体験活動に取り組んでいる。

2 研究主題

目的に応じて書くことができる児童の育成  
～国語科における情報の扱い方に関連付けて～

3 研究の概要

(1) 児童生徒の実態と課題

令和2年度の全国学力・学習状況調査問題を校内で実施し、分析を行った結果、条件に合わせて考えを記述する設問の正答率が全設問の中で最も低い23%であった。目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりすることに課題が見られたため、複数の資料を活用して考えたり、書いたり、伝えたりするなどの学習をとおして、思考力・判断力・表現力を高めていく必要がある。

そこで、本校は次のような仮説を立てた。

研究仮説

自分の考えを書いたり、伝えたりする際に、書く前の指導を工夫し、目的を明確にすることにより、書いて表現する楽しさを実感し、目的に応じて書くことができる児童を育てることができるだろう。

(2) 学力向上のための取組

○全国学力・学習状況調査の仮採点と分析

○書く力を高めるための「情報の扱い方」に着目した授業展開

- ・第1学年『『のりものずかん』でしらせよう』
- ・第5学年「世界遺産 白神山地からの提言 ー意見文を書こうー」
- ・第6学年「ユニバーサルシティを創ろう ～パンフレットで知らせよう」

○「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを基盤とした学習指導と「まとめあげる」過程における振り返りの記述指導

・岩木小学校「いわき」の観点での記述

「い」一生懸命頑張ったこと 「わ」わかったこと 「き」気になること

## 【情報の扱い方に関する事項に重点を置いた学習指導の実践事例】

### ①第1学年 『のりものずかん』でしらせよう

第1学年では、言語活動として乗り物図鑑を作成し、幼稚園児にプレゼントする活動を位置付けた。並行読書を行い、図鑑などから情報を集めた。文章や写真から必要とする「役割」と「つくり」を見つけ出し、情報と情報の関係に着目しながら図鑑づくりに取り組めるよう指導の工夫を行った。



### ②第5学年 「世界遺産 白神山地からの提言 ー意見文を書こうー」

第5学年では、意見文を書き保護者に伝えて交流するという活動を位置付けた。複数の資料を関係付け、児童それぞれが立場を明確にして意見を構築した。さらに、意見交流の方法を工夫することで説得力のある文章を書かせることができた。



### ③第6学年 「ユニバーサルシティを創ろう ～パンフレットで知らせよう」

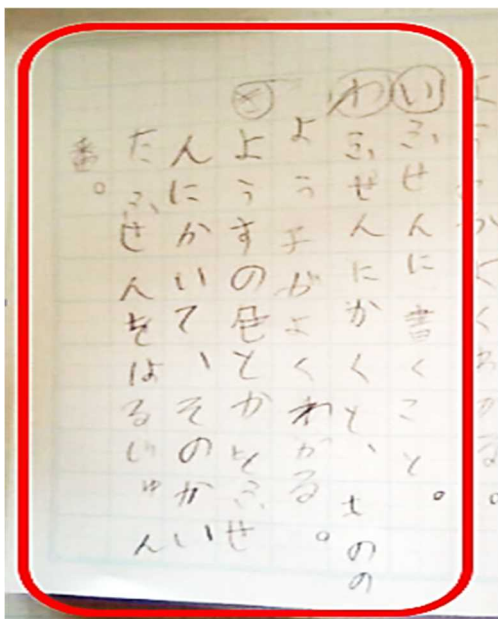
第6学年では、総合的な学習の時間の「福祉教育」と関連させてパンフレットを書く活動を位置付けた。誰もが住みやすい町にするために課題を見つけ、インターネットや図書館を活用して情報を収集し、出典を明記した上で資料を提示できるよう指導した。デイサービスや地域の方、他校の同学年の児童に紹介するといった相手意識を明確にしてパンフレットを書いた。



#### 4 成果

- 全国学力・学習状況調査の仮採点を行ったことにより、課題が明確になり、早期から指導に生かすことができた。
- 「情報の扱い方」に重点を置いたことにより、全学年で共通理解を図ることができ、系統を意識した指導ができた。
- 乗り物図鑑や意見文等を書く前の指導として、相手意識や目的意識を教師が明確に指導したことにより、児童の意欲が高まり、目的に応じて表現することができた。
- どの学習においても「いわき」の観点で振り返りを書かせることにより、書く機会が増え、児童の書く力が高まりつつある。

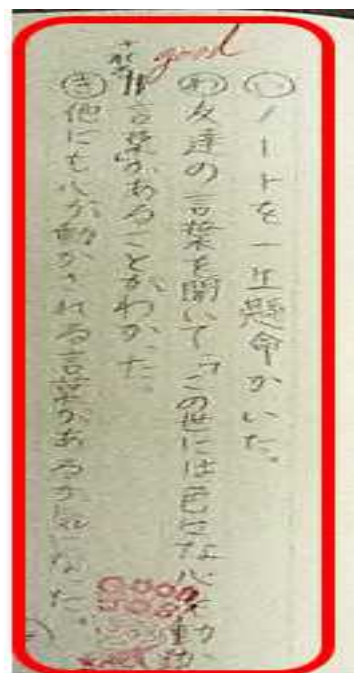
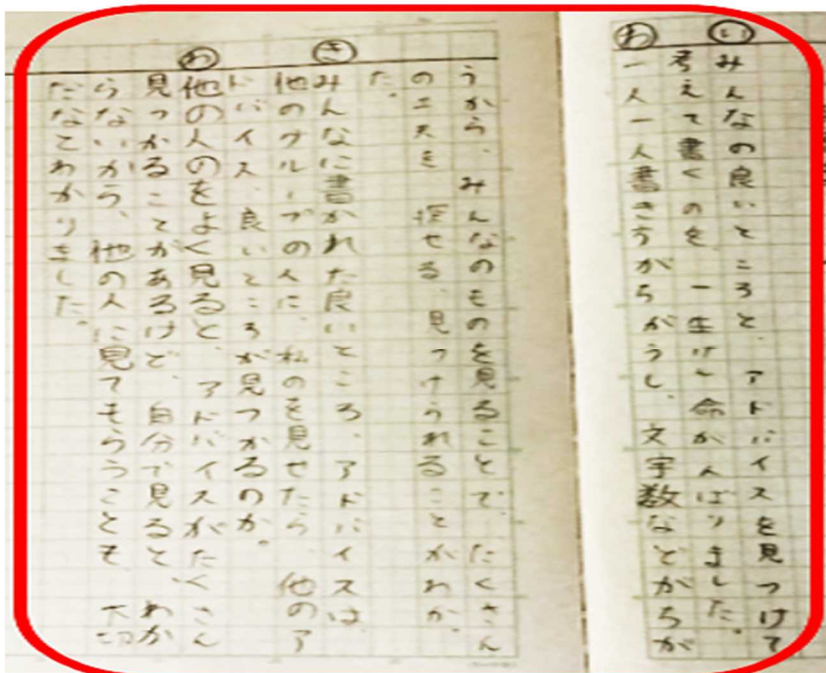
#### 【 第2学年振り返りの記述例 】



自分の言葉で振り返りを書かせた。授業での達成感や学びの習熟、今後の学習への意欲付けを図ることができた。

グループでの話し合いが主活動になる授業においても振り返りを書かせた。書く場が確保されたことにより、児童の書く力が高まりつつある。

#### 【 第6学年振り返りの記述例 】



5 今後の課題

- 学校質問紙と児童質問紙を含めた全国学力・学習状況調査の分析を行うこと。
- 書く力を伸ばすための常時活動を継続すること。
- 情報の扱い方に関する事項の指導についての実践を積み重ねること。
- 資料と資料を読み合わせ、自分の考えを書く等、思考し表現する力を高めること。
- ノート等を書く場の確保とICT活用の推進を図ること。



今年度のICT活用については、「まずは使ってみる」を合言葉に、様々な教科で使用した。来年度は、「効果的な活用」を合言葉にICT活用を推進していく。

校内授業研究会の全体会では、jamboardを使用して協議をした。授業参観時から成果・課題・提案を書き込むことができ、研究主題への深い話し合いができた。校内研修においても効果的に活用していきたい。

7 本時の指導 (3/8)		成果	課題	提案
(1) 本時の目標 身の周りの物から感じた情報(色・形・大きさ・感触)を付箋に書き、友達と見せ合い、情報の共通・相違を見つけ、観点ごとに構成表にまとめる。 (思考力・判断力・表現力等) Bウ				
(2) 展開				
通時	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考	
導入 (見 だす)	1 前時を振り返る。	○ 題材にする小石や枯葉を出させ、様子にはどんなものがあるかを(形、大きさ、色など)確認する。	ノート ワークシ ート	
5分	2 本時の課題をつかむ。			
展開 10分	3 形、色、大きさなどの様子を書く。 付箋を書けない児童が 少なかった。	○ 様子を書く前に「何に似ているか」を話し合おう。 付箋を多く書いた後、ノートに形・色・大きさ別にしっかりと付箋を貼っていく。	教科書 ノート 付箋	

校内授業研究会全体会での協議で使用した jamboard